

小5

中学受験 算数

ポイント

名前 _____

相当算

____ 月 ____ 日

まとめ 相当算

割合 標準

- ① わかっている量が、全体の何分のいくつにあたるかを式にする ② ①にあたる量 ÷ 分数 = 全体
③ 線分図で確かめる

例

- (1) 本を読み、全体の $\frac{3}{5}$ にあたる90ページを読んだ。全体は何ページ？

読んだ量は、全体を①とすると $\frac{3}{5}$
 $90 \div \frac{3}{5} = 150$ (ページ)

本

読んだ $\frac{3}{5}$	残り $\frac{2}{5}$
-------------------	------------------

 全体150ページ

全体を①とすると、わかっている量は全体の何分のいくつ。①にあたる量でわって全体を出す

- (2) 1日目に全体の $\frac{3}{5}$ を読み、残りは60ページ。全体は何ページ？

残りは、全体の $1 - \frac{3}{5} = \frac{2}{5}$ にあたる
 $60 \div \frac{2}{5} = 150$ (ページ)

本

読んだ $\frac{3}{5}$	残り $\frac{2}{5}$
-------------------	------------------

 全体150ページ

「残り」は全体から読んだ分をひいた分数にあたる。1からひいた分数で考える

- (3) ボールを落とした高さの $\frac{2}{3}$ の高さまではね上がる。2回目にはね上がった高さが80cmのとき、落とした高さは？

2回目は、1回目にはね上がった高さの $\frac{2}{3}$
1回目は $80 \div \frac{2}{3} = 120$ (cm)
落とした高さは $120 \div \frac{2}{3} = 180$ (cm)

はね上がる高さは、そのたびに同じ分数をかけた量になる。2回目から逆に、÷分数でもどしていく

- (4) 兄と弟の所持金の合計は1000円。兄の所持金の $\frac{1}{4}$ と、弟の所持金の $\frac{1}{6}$ は同じ。兄は何円？

兄:弟 = (弟の比):(兄の比) = $6:4 = 3:2$
 $1000 \div (3+2) \times 3 = 600$ (円)

「兄の① = 弟の②」のとき、兄と弟の所持金の比は、それぞれの分母や倍の数を入れかえた比になる

